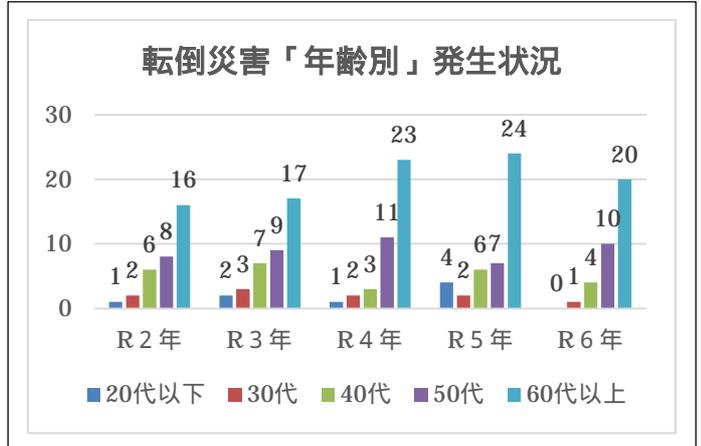
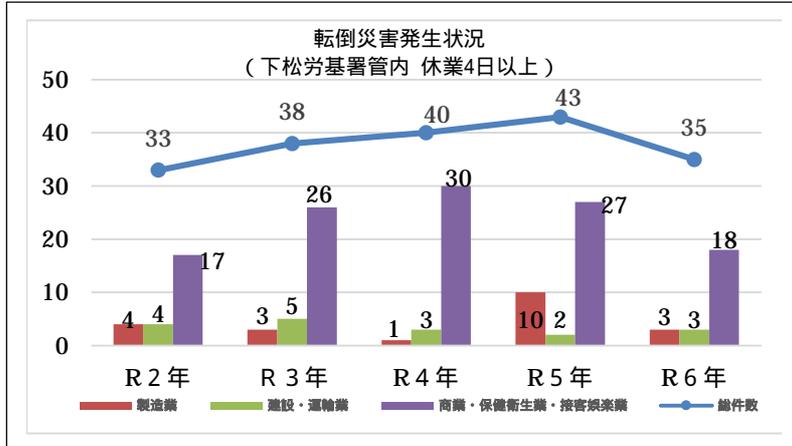


職場での転倒災害を防止しましょう

1 下松労働基準監督署管内での転倒災害の発生状況

転倒災害は、**業種を問わず**発生し、年々増加傾向にあり、特に**第三次産業等**で多い傾向にあります。

災害の特徴は、60歳以上の高年齢者で多い傾向にあり、60代以上では災害の6割以上が**休業1か月以上**となっています。



2 下松労働基準監督署管内での令和6年の転倒災害発生事例

年	業種	発生状況	休業	年代
令和6年	運送業	早朝暗い時間帯に配達中、ロープに引っかかり転倒(肋骨の骨折)	3か月	80代
	建設業	屋外作業中、縁石につまずいて転倒(足の骨折)	2か月	70代
	宿泊業	通路にあった荷物につまずいて転倒(手の骨折、顔面打撲)	1か月	70代
	製造業	洗浄作業中、両手に荷物を持った状態で足を滑らせ転倒(顔、手、足打撲)	1か月	40代
	製造業	両手に荷物を持った状態で足元の台車を踏み、転倒(足の骨折)	6か月	70代
	医療業	荷物を取ろうとしたところ、荷物が椅子に引っかかり、反動で転倒(足の骨折)	3か月	40代

3 転倒災害防止対策のポイント

設備管理面の対策[整理・整頓・清掃・清潔]

- 歩行場所に物を放置しない
- 床面の汚れ(水、油、粉等)を取り除く
- 床面の凹凸、段差等の解消



転倒しにくい作業方法「あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて」

- 時間に余裕を持って行動
- 滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行
- 足元が見えにくい状態で作業しない



その他の対策

- 作業に適した靴の着用と靴の定期的な点検
- 職場の危険マップの作成による危険情報の共有
- 転倒危険場所にステッカー等で注意喚起
- 体操による筋力維持・アップ



あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう

	チェック項目	チェック
1	身の回りの整理・整頓を行っていますか？通路、階段、出口に物を放置していませんか	
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	
3	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか	
4	安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか	
5	ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	
6	職場巡視を行い、通路、階段などの状況をチェックしていますか	
7	荷物を持ちすぎて足元が見えないことはありませんか	
8	あわてて駆け足になっていませんか	
9	ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか	
10	作業靴は、滑りにくさを考えて選んでいますか	
11	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	

<追加対策として>

働く高齢者の特性に配慮した**エイジフレンドリー**な職場づくりを目指しましょう。

高齢労働者の安全衛生対策について
(エイジフレンドリーガイドライン、補助金など)

